MORINPIA KOZU NEWSLETTER

もりんぴあタイムズ

PUBLISHED BY KOZUNOMORI COMMUNITY CENTER

No.41 2024.8.31

多目的ホールが音楽にあふれた７月！

7 月 MORI×MORI ホールは音楽に関するイベントが盛り沢山でした。

7 日の日曜日には「七夕ライブ」を開催しました。この日トップバッターを飾ったのは、杜の少年少女合唱団で、七夕にちなんだ「きらきら星」「七夕さま」を披露した他、「この星に生まれて」と back number の「水平線」を歌い上げ美しいメロディを澄んだ歌声で響かせました。

続いて、国際医療福祉大学　成田キャンパスの軽音楽部から『しゃふてず』『Gives』『Aqucis』の 3 バンドが登場しました。

大学生らしい活気あふれるエネルギッシュな音楽に観客も大盛り上がりで、観客も手をリズムにあわせて振ったり、手拍子をしたり、ビートにあわせて体を揺らしたりと、それぞれのノリ方で楽しんでいました。

国際医療福祉大学　成田キャンパス　軽音楽部の学生さんには、普段スタジオをご利用いただいています。防音のスタジオのため、中でどんな曲が演奏され、どんな楽器を演奏しているのか、知ることができないのですが、今回のライブでは受付対応の際とは違った表情を見ることができてうれしかったです。

24 日の水曜日には「昭和歌謡コンサート」を開催し、平日ながら 202 席完売の満席となりました。

「昭和歌謡コンサート」はプロの演奏家とクラシック歌手で構成された『歌声カルテット』によりクラシックから唱歌、歌謡曲、ポップスまで幅広い名曲をお届けするコンサートです。

この日はピアノ・ヴァイオリン演奏ののち、「高校三年生」「憧れのハワイ航路」などの歌謡曲にはじまり、「たなばた」「夏の思い出」などの唱歌をはさみ、アンコールの「糸」「オーシャンゼリゼ」で締めくくる全 20.曲を披露しました。

演奏を終えた 4 人に惜しみない拍手が送られました。

観客からは、「楽しかった」「またやってほしい」「次回はいつ？」との声が聞かれました。次回開催は未定ですが、皆さんの声を受け止め、前向きに検討したと思います。

この他、年間事業として開催中の「もりんぴあ合唱部」「杜の少年少女合唱団」もあり、さまざまな音楽・歌声がホールに響き渡った 7 月でした。

公津の杜小学校アサガオ配布に協力

6 月 6-7 日、公津の杜小学校の地域交流活動、児童が育てポットに移植したアサガオの配布場所として協力しました。用意されたおよそ 100 株は 1 日半でなくなり、急遽 60 株を追加するほどの人気ぶりに、児童、先生たちも大喜びでした。

多種多様な芸術作品を身近に感じる！

6 月から 8 月にかけて、公津の杜コミュニティセンター主催で様々な展示・作品展を開催しました。

5 月 21 日から 6 月 9 日にかけて、現代作家展「まんがの世界」として、成田市在住の漫画家ももなり高（たかし）さんの原画を展示しました。ももなりさんは中国の歴史を題材にした作品や実録物の劇画などを描く漫画家で、その作品の貴重な原画を展示していただきました。

展示された原画を見てみると下書きのあとが見れたり、ペン入れ後の修正も見れたり、ももなりさんのこだわりが垣間見えます。ももなりさんの原画以外にも漫画教室の生徒さんの作品も展示され、一味違った展示会となりました。

6 月 26 日から 7 月 11 日には、若い芽の作品展として「成田国際高等学校　写真部作品展」を開催しました。

日頃の活動における作品の発表の場として、55 点の写真を展示しました。中には見覚えのある風景もファインダー越しに撮られ、写真となって見ると違った視点で見え、通りがかった人も思わず、立ち止まって見入っていました。

7 月 13 日から 29 日までは、青い麦の子作品展として「誰でもピカソ」を開催しました。「社会福祉法人菜の花会アーアンドデイだいえい」に協力いただき、作品を展示しました。60 点を超える独創的な作品をどこか見ているこちら側が元気をもらえるような作品ばかりで、来場は自然と笑顔になっているように見受けられました。

8 月 6 日から 13 日までは、若い芽の作品展「公津の杜中学校　書道部　作品展」を開催しました。昨年までは美術部との合同開催でしたが、今回は書道部のみの単独展示会となりました。53 点にも及ぶ力作の中には、天井から床の高さよりも長いダイナミックな作品もあり、中学生ならではの、力強さをより感じることができました。

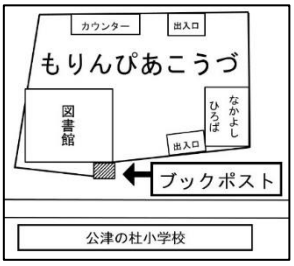
このよう公津の杜コミュニティセンターでは、芸術作品をより身近に感じてもらうための「現代作家展」、地域の若手芸術家の発表の場としての「若い芽の作品展」、就労継続支援施設の理解を深めていただくための「青い麦の子作品展」を展開しているほか、どなたでも応募できる「春の芸術祭」、利用サークルの発表の場として「もりんぴあフェスティバル」など盛り沢山です。次はどんな作品に出会えるでしょうか。

図書館だより

ホールでなつのおはなしかい

8 月 7 日に杜のなつやすみおはなしかいを開催しました。演目は、言葉のリズムが楽しい『ぽんちんぱん』、動物園で順番に体重を測っていく『どうぶつたいじゅうそくてい』、初めて空を飛んだこすずめを描いた『こすずめのぼうけん』、動物も人もみんなするうんちを明るくユーモラスに描いた『みんなうんち』でした。常連の方も初めての方も、大型絵本の迫力ある大きな挿し絵を楽しみ、また、語りに聞き入りました。1 月にも、ふゆのおはなしかいを予定しているので、どうぞご参加ください。

ブックポストにも返せます



図書館で借りた本は、ブックポストに返すこともできます。もりんぴあ正面玄関の近くにあり、建物内に入ることなく本を返却できます。休館日や閉館後も開いているので便利です。（視聴覚資料や紙芝居、他館から借り受けてご提供した本など、一部ブックポストを使えない資料もあります）

季節にあったインスタレーション

インスタレーションとは、場所や空間全体を作品として体験させる芸術手法をさします。6 月はジューンブライドで紋付羽織袴、白無垢などの和服。7 月は七夕で笹竹。8 月はお祭りで「祭」と書かれた団扇を展示し、館内をその季節にあわせた芸術空間として利用者の方をお迎えしています。

片頭痛について学ぶ杜の保健室

杜の保健室は地域医療の中核を担う成田赤十字病院、国際医療福祉大学と連携し、「健康な暮らしつくり」を考える場とし開講しました。今回は成田赤十字病院　脳神経内科部長　吉川由里子さんを講師にむかえ、「片頭痛」について学びました。片頭痛といっても分類やタイプ、重症度など様々。原因や治療方法などを丁寧に教えていただきました。

なかよしひろばだより

“あそびのひろば” 開催しました

7 月 15 日に MORI×MORI ホールで“あそびのひろば”を開催し、約 80 組の親子が参加しました。
午前は未就学の子ども対象に「トンネルくぐり」「金魚すくい」「お面づくり」「木のおもちゃや大型積み木」などの遊びコーナーを設けました。夏のイベントなので浴衣や甚平を着てきた子どもも多く、家族や友達と一緒に、好きなコーナーで思い思いに遊びました。各コーナーにはスタッフの他に、お面の材料などを用意したボランティアの「チョキペタ隊」のお母さん達と小学生ボランティアが入りました。小学生が遊び方やお面などの作り方を説明して小さい子と関り、それぞれが良い体験となったようでした。

午前の最後は子どもたちの大好きな「エビカニクス」を皆で踊っておしまいとなりました。

午後は赤ちゃんだけのゆったりとした時間。「木のおもちゃコーナー」で赤ちゃんを遊ばせながらママパパ同士で交流していました。ハイハイできる赤ちゃんたちは広いホールでのびのびと動いて楽しそうでした。またハイハイレースも開催しました。ママパパが待つゴールまでがんばってゴール出来た子、途中で泣いて動けなくなった子とそれぞれでしたが、会場にいたみんなで応援して温かい雰囲気となりました。最後の「ふれあい遊び」は親子でふれあう楽しい時間となりました。

おまけの１枚

7 月 4 日、ホールに設置しているグランドピアノの保守点検を行いました。
日頃、みなさまに安心・快適にご利用いただくために、設備等の保守点検を行っています。細心の注意を払ってはいますが、何かお気づきの点がございましたら、お気軽に職員までお申し付けください。

編　集　後　記

帰省から帰ってくる家族を迎えに東京駅へ行きました。広い構内迷子にならないようにいつも通る道は決まっています。腹ごしらえのためにいつもとは違う道を歩くと色々な美味しそうなお店がたくさんあり目移りしてしまう。旅の出発地東京駅ではなく、食の目的地東京駅もありかもしれない。（K）

8 月の猛暑の中、昔の同僚たちと T の実家で BBQ！家族も増えた同僚も多く、老若男女総勢 25 名参加、0 歳～63 歳までの精鋭部隊。最高齢は T！(笑)炭に火をつけ、団扇で扇ぎカルビを焼く。汗が滴り落ち、ビールがうまい！ただ、最大の敵は猛暑。肉を食べるにも暑さに負けない体力が必要！（T）

公津の杜コミュニティセンター
（指定管理者　アクティオ株式会社）
発行人：竹尾 裕之　　編集：鹿嶋 聡明
〒286-0048　千葉県成田市公津の杜４丁目８番地
TEL：0476－27－5252　FAX：0476－27－5353
E-mail：info-kozu@morinpiakozu.jp　HP：http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあこうづ
MorinpiaKozu